

防災の備え、知っていますか？ 「防災気象情報」～②風や雨の表現

気象の解説では「西の風が非常に強く」「激しい雨が降る」といった用語が出てきます。この「非常に強い風」「激しい雨」とはどのような風、雨なのでしょう？

気象台が発表する情報では、現象の強さによって、風は「やや強い」「強い」「非常に強い」「猛烈な」、雨は「やや強い」「強い」「激しい」「非常に激しい」「猛烈な」という表現を使います。例えば「やや強い風」は平均風速が10～15m/sの風を表現し、その上限は強風注意報基準、「強い風」「非常に強い風」は強風注意報基準から暴風警報基準に該当する風になります。雨は「やや強い」でザーザーと降る、「強い」でどしゃ降り、「激しい」でバケツをひっくり返したように降るイメージです。

強い雨や風は、車の運転に大きな影響が出るほか、強風による飛来物、大雨による浸水などさまざまな危険を及ぼします。外出や悪天に備える際には、天気予報や警報・注意報の表現を参考にして安全対策をとりましょう。

雨と風の階級表（気象庁webページURL）

http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html

【防災コメント】

6月は霧が発生しやすい時期です。気象台では、見通しが陸上で200m、海上で500m以下が予想される時に、「濃霧注意報」を発表します。「濃霧注意報」が発表されたら、車の運転・夜間の歩行・船舶の航行に注意が必要です。

車に乗っているときの雨・風のイメージ

雨	風
○強い雨（1時間雨量20～30mm） ファイバーを走くても見づらい。	○やや強い風（平均風速10～15m/s） 道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では、横風に流される感覚を覚える。
○激しい雨（1時間雨量30～50mm） 高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。（ハイドロプランニング現象）	○強い風（平均風速15～20m/s） 高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。

お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話：0162-23-2679

地域おこし協力隊通信

vol.42

こんにちは、地域おこし協力隊の吉原ゆりかです。

雪が解け、渡り鳥たちが飛来すると、幌延町の観光シーズンが始まります。その準備の1つである、幌延ビジターセンター開館作業を担当職員と一緒に行いました。まずは水道の開栓から始まります。草をかき分け、水たまりを飛び越え、外に点在する水の栓を開け進めて、ビジターセンター内へ水を通しました。普段利用しているさまざまな施設も、こうした作業を誰かがしてくれて、便利に使わせてもらっているんだと感じました。また、ブルーポピーのガーデンデビューに向けた作業も行いました。2センチにも満たない芽を少し大きいセルトレイに移し替えるというシンプルな作業ですが、力加減がとても難しく、パート職員の皆さんのスピードと正確さには全く及びませんでした。この小さな芽は、今年ではなく来年に花を咲かせてくれる予定です。ブルーポピーは非常に生育が難しい花だとは聞いていましたが、ガーデンで姿を見せてくれるまでに、たくさんの方が手をかけ、時間をかけて育てられていることに驚きました。作業をする中で、多くの町の方の努力が、幌延町の観光資源を支えているということをもっと感じましたし、自分もその力になっていきたいと思いました。



①名山台展望台から見た景色



②ブルーポピーの赤ちゃん

▼町ホームページ：協力隊コーナー「Base Town」／▼協力隊Facebook(URL：<https://www.facebook.com/horo.okoshitai/>)